

事例 **あずま太陽の家 事務処理科**
「パソコン教室」

山梨太陽の家（山梨県） 〒400-0071 山梨県甲府市羽黒町1272番1 TEL 055-251-4123

活動の概要

平成15年1月14日より、初心者の方を対象にした「あずま太陽の家パソコン教室」を開始しました。「パソコンをはじめてみたい」「パソコンを使いたいけど操作がわからない」というような方を対象に、施設入所者、作業指導員がチームを作り、指導実施計画を立案して、期間区分を設けて、指導を行っています。当初、地元新聞の一面を使い、広く一般に広報した結果、多くの一般地域住民の参加も行われています。

法人の概要

当法人は、昭和62年4月に、20名定員の身体障害者通所授産施設を設置し、事業を開始しました。その後、平成11年10月に身体障害者デイサービスセンターを1日利用定員5名で認可を得、平成13年12月に身体障害者通所療護施設を利用定員4名で認可を得て、今日に至っています。

通所授産事業の主なものは、①印刷科（オフセット印刷機による封筒印刷等）②軽作業（地場産業である鹿革工芸品の甲州印伝の下請組立作業）③事務処理科（「パソコン教室」中心）等です。

施設は、甲府市街地から車で15分程の場所にあり、通所バスを甲府駅と当施設の間を運行し、通所者の送迎を行っています。

- 経営施設数…3
 - 法人全体の年間事業収入…60,000千円
 - 主な経営施設
- | | | |
|-----------------|---------|-------|
| 身体障害者通所授産施設 | 昭和62年設立 | 定員20名 |
| 身体障害者デイサービスセンター | 平成11年設立 | 定員5名 |
| 身体障害者通所療護施設 | 平成13年設立 | 定員4名 |

実施施設の概要

- 施設名…あずま太陽の家
- 施設種別…身体障害者通所授産施設、定員20名

施設の運営方針

障害者は、自分の幸せを得るために、「援助」という安易な考え方でなく、確固たる信念を持ち、一社会人としての自覚を持って、一日一日を大切にすごしてもらいます。障害者の自立をめざした地域作り活動に努めます。

活動の内容

- 活動対象者…障害者、児童、主婦、老人、一般成人等制限を設けない。
- 活動の頻度…毎日、午前と午後に分けて活動
- 年間延利用者数…1,500名
- 活動開始年…平成15年

活動開始の背景（取り組みの経緯）

平成14年度事業で、国の設備近代化事業に、老朽化したワープロ10台の後継機種として、パソコン10台を申請したところ、承認をいた

1. 地域ニーズへの対応 (1) 施設機能などの地域還元

だき、整備することができました。この整備されたパソコンの活用方法として、施設利用者に限定せず、広く地域に門戸を広げ、施設利用者がこれまでに習得してきたパソコン操作能力を、地域の子供から主婦、老人にまで広げて、利用の機会を提供し、かつ、低額料金でいつでも誰でもが利用できる場を提供しました。

こうした機会に、施設を気軽に活用し、人間関係が生まれ、互いに理解し合う機会となることを願っています。児童も夕方等を利用しており、地道な地域活動となるような活動として育ててまいりたいと思います。

■人材・資金面等での工夫、苦慮

当パソコン教室は、2ヶ月を1サイクルとして受け付けていますが、希望者が多く、また、継続受講を希望される方も多い。また、施設利用者の中にもパソコンを使いたい方も居る等で、全体の日程調整に苦勞する面も見られます。

現在、指導体制は、職員2名、障害者4名となっています。指導方針としては、「基本操作の習得」とし、受講終了時には文字入力ができ、簡単なチラシが作れる程度を目標に行っています。

1回の受講料を300円としているので、採算ベースというわけにはとてもいきません。

課題は、指導レベル向上のニーズに対応する指導体制づくりにあると思われまます。

■利用者の声、地域の反応

先日(2月10日)施設の広報紙に73才の受講者の方が投稿されたので紹介します。

『73才の初体験ですが、挑戦してみることに価値があると、やってみました。最初はなかなか覚えが悪くはかどりませんでしたが、段々やって行くうちに興味も手伝って、面白くなっ

てきました。ひとつひとつが新鮮に興味深く感じられ、週2回の午前中が楽しくなりました。無論、私を指導してくださる方々の御協力もあっての事と思います。なによりも私の心構えであります「過ぎ去った昨日を今日に生かし、今日の反省を明日に生かす」という生きがいをもって、努力することにつきると思います』といった記事をいただきました。

■活動の成果、地域の影響、今後の課題

パソコン教室が、息長く、地域の中で活用されることを願っています。そのためにも、指導する者のたゆまぬ精進、努力が必要であり、また、設備の維持向上にも努めてまいりたい。

将来、このパソコン教室で培われた技能が上達し、施設の中核事業の一つである印刷業において、版下等の製作等で職業技能が習得されるような方向が芽生えてくれることを、一方では願っているところです。

(ホームページアドレス

<http://www.a-taiyou.com/>)